

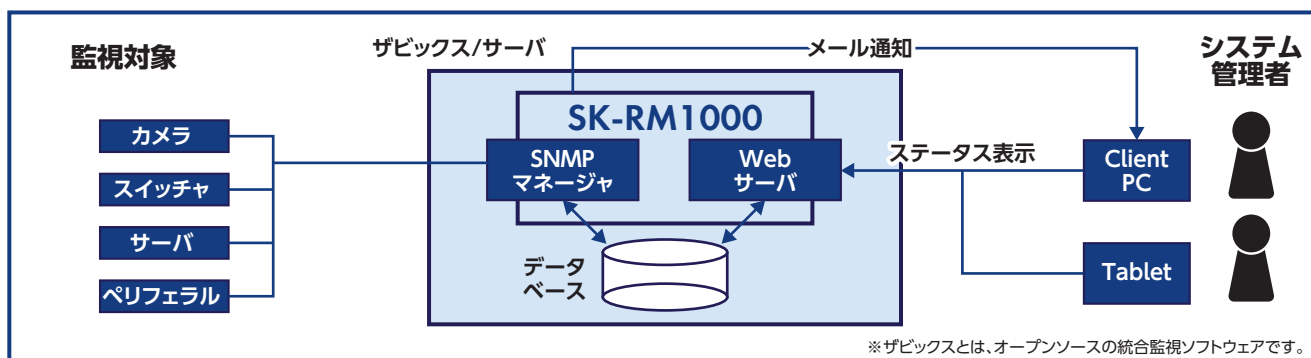
【監視ソリューション】

Remote Maintenance Kit SK-RM1000

SANKEN

【監視システムの構築】

カメラやスイッチャー、サーバ、各種ペリフェラルなどの機器が正常に動作しているか、異常が発生していないかを常に監視して、分かりやすくグラフィカルに表示すると共に、障害発生時には管理者へ通知する機能を持った監視システムの構築を行います。



【スケーラビリティ】

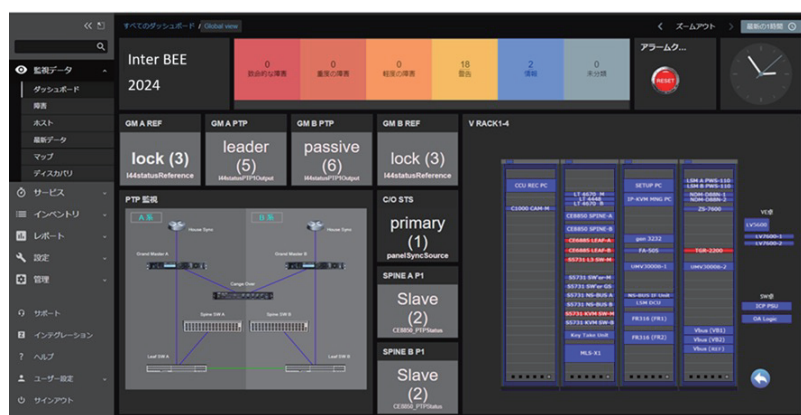
監視対象が数台程度の小規模システムから1000台クラスの大規模システムまで柔軟に対応します。監視対象の機器を複数のグループに分けて、グループ毎に監視のOn/Offを切り替えることもできます。

【監視項目を細かく設定可能】

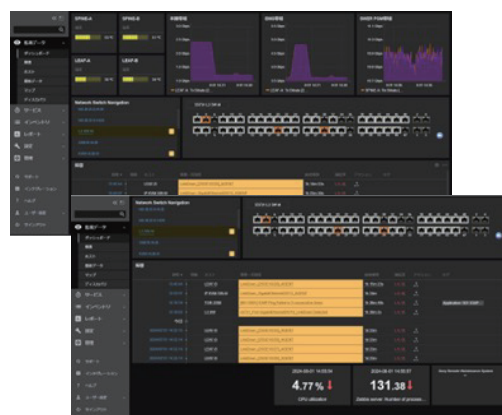
各機器毎にきめ細かく監視項目を設定いたします。また閾値を設定して、そのレベルに応じたエスカレーションを行います。

【分かりやすい障害通知】

システム管理者は、PCやタブレットのブラウザ上で、現在のシステム稼働状況を確認できます。障害発生時には、パトライト・メール・SNSなどを利用して、システム管理者へ速やかに分かりやすくエスカレーションします。



ダッシュボード表示例



エラー詳細表示例

【お見積りに関して】

システムに関する打合せ、事前設定作業、現地確認作業等、別途お見積りが必要です。ドキュメント作成、特注対応など、ご要望に応じて別途対応いたします。詳しくは、下記までお問合せください。

SK-RM1000

定価：500,000円

(消費税込み 550,000円)

本カタログの内容に関するお問合せは

SANKEN 三研メディアプロダクト株式会社
<http://www.sanken-m.co.jp>

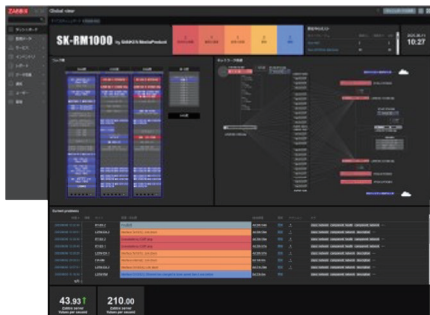
<トラस्टィ・エンジニアリング事業部>
〒243-0021

神奈川県厚木市岡田3088 ケーオービル A棟 4F
E-mail: trusty_info@sanken-m.co.jp



このカタログの情報は2024年11月時点のものです。仕様については予告なく変更することがあります。

ダッシュボードUI



Zabbix GUIダッシュボード構成設計例

本ダッシュボードは、Zabbixを用いてシステム全体の監視状況を視覚的かつ直感的に把握できるように設計されています。以下に、主要な表示セクションとその機能概要を記載します。

■ 障害情報セクション

ダッシュボード上部には、現在発生している障害の件数を障害レベル別に集計し、色分けされたグラフ形式で表示します。表示色は任意に設定可能で、視認性と緊急度の判別を容易にします。

また、ホストグループ単位(例：回線系統毎、最重要機器のみetc.)で障害の有無を集計し、各グループ内の障害中ホスト数を一覧表示します。これにより、障害の影響範囲を即座に把握することが可能です。

■ ラック図セクション

監視対象機材の物理的な設置位置をラック図として表示し、各機器の障害状態を色分けで示します。正常・警告・重大といった状態を視覚的に識別できるため、現場対応の迅速化に寄与します。

■ ネットワーク系統セクション

ネットワークスイッチやルータ等の接続状態をトポロジーマップ形式で表示し、機器間の通信状況やトラフィック量をリアルタイムで可視化します。これにより、ネットワーク全体の健全性を一目で確認でき、ボトルネックの特定も容易になります。

■ Current Programsセクション

現在進行中の障害情報を一覧形式で表示し、各障害の発生時刻、影響範囲、ステータスなどの詳細を確認できます。運用担当者が迅速に状況を把握し、対応優先度を判断するための基盤となります。

ラック監視UI



ラック図による障害監視機能

■ ラック配置の視覚化

Zabbixのマップ機能を活用し、監視対象機材のラック配置をGUI上に視覚的に描画します。表示されるラック図は、実際の設置構成に基づいて設計されており、各機器の物理的な位置関係を直感的に把握するとともに、個別機器も視覚的に表示する事ができます。

■ 障害状態の色分け表示

各ラック内の機材はZabbixのホスト情報と連携して表示され、障害状態に応じて色分けされます。正常な機器は青色、警告状態は黄色、重大な障害が発生している場合は赤色で表示されるなど、視認性に優れたステータス表示が可能です。

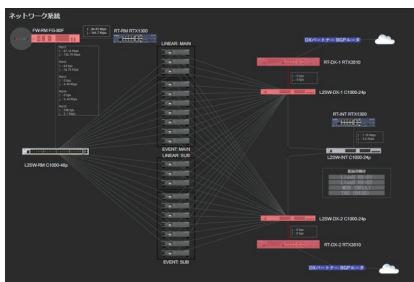
■ 詳細情報の付加

各機器アイコンにはホスト名やステータス情報を付加することができ、クリック操作により詳細情報へのアクセスも可能です。これにより、障害の発生箇所や内容を即座に確認できます。

■ 現場運用への適応性

本機能は、放送設備やデータセンターなど、物理構成と障害対応が密接に関係する現場において特に高い効果を発揮します。Zabbixの標準機能を活用しながら、現場運用に即した柔軟なカスタマイズが可能です。

ネットワーク状態監視UI



ネットワーク障害監視機能

■ 接続状態の可視化

Zabbixのマップ機能を活用し、ネットワークスイッチやルータなどの接続状態をトポロジーマップ上に表示します。機器間のリンク構成を視覚的に把握でき、ネットワーク全体の構造を直感的に理解できます。

■ トラフィック量の表示

特定ポート間の通信量をリアルタイムで表示し、帯域使用率やトラフィックの変動を監視します。通信の混雑状況やデータ量の異常な増減を早期に検知することが可能です。

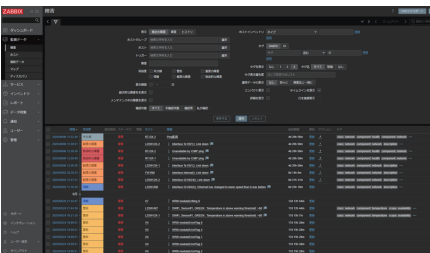
■ 通信状態の色分け

接続線の色により通信状態を判別できます。赤色は通信エラーの発生を示し、グレイは正常な通信状態を表します。視認性に優れた色分けにより、障害箇所の特定が容易です。

■ 機器状態の判別

接続線が正常でも、機器アイコンが赤く表示されている場合は、ネットワーク以外の障害(例：CPU負荷異常、メモリエラーなど)が発生していることを示します。これにより、障害の種類を即座に識別できます。

障害監視UI



障害監視機能

システム全体の障害をリアルタイムで監視・記録することが可能です。現在発生している障害の把握から、過去履歴の分析まで、運用に必要な情報を多角的に提供します。

■ 現在の障害

未解決の障害(アクティブな障害)を一覧表示します。ステータスが「障害発生中」で、「OK(復旧)」になっていない項目のみが対象です。運用中に、今まさに発生している問題を即座に把握するための基本画面です。

■ 最近の障害

過去に発生し、現在は復旧済みの障害履歴を表示します。表示件数や対象期間はメニュー設定が可能で、発生から復旧までの流れを時系列で確認でき、対応履歴の振り返りや分析に活用できます。

■ 障害ヒストリ

過去に発生・解決した障害を含めた全履歴を一定期間分表示します。トラブルの傾向分析や再発防止策の検討に役立ち、長期的な運用改善に貢献します。フィルタ機能により、期間やホスト、障害レベルなどで絞り込みも可能です。